

令和4年度 学校経営計画書

学校番号	73	学校名	静岡県立浜松湖東高等学校	校長名	白井 秀幸
------	----	-----	--------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

「誠実」「勤勉」「礼節」の校訓のもと、「豊かな感性」「確かな知性」「高い志」「健やかな心身」を備えた民主的・平和的な社会の有為な形成者として、調和のとれた人格の形成と地域社会に貢献できる人材を育成する。

<目指す生徒像> 「自分から 自分らしく 自分の言葉で語れる生徒」

<キャッチコピー> 「好きを見せてやれ」

(2) 目標具現化の柱

ア カリキュラムマネジメントの推進

(ア) 教科横断的な視点を共有するための6つの育成したい資質・能力

- ・「論理的思考力」
(相手の主張の道筋を読み解き、自分の考えを整理して伝える力)
- ・「関連づける思考力」
(唯一の正解が存在しないものに、最適解や納得解を見出す力)
- ・「分析・批判的思考力」
(対立やジレンマに折り合いをつける力)
- ・「ネガティブ・ケイパビリティ」
(答えの出ない事態に耐え得る力 / やり抜く力(グリット(GRIT)) / 立ち直りを促進する力(レジリエンス(RESILIENCE)))
- ・「コミュニケーション能力」
(他者と良好な人間関係をつくる力 / 他者との対話の中で、自分の考えを再考し、自己の理解を深める力)
- ・「発信力」
(自分の考えを要約して相手の記憶に残るように話す力)

(イ) 探究的取組の推進

「ソーシャルチェンジ」として、困っている人を助け、笑顔にする企画を考えるプログラム(1年次)、「コーポレートアクセス」として、実在する企業へのインターンシップを教室で体験し、働くことの意義や経済活動について学ぶプログラム(2年次)、「課題研究」として、将来目指す分野について自ら課題を確定し、探究するプログラム(3年次)を実施する。

(ウ) 外部リソース活用の推進

週休日、勤務時間外の業務を縮小する観点から外部リソースを導入し、業務のスリム化を図る。

イ 校務の効率化、教育環境整備による働きやすい職場環境づくりの推進

(ア) 新教育課程の編成に向けて現状分析を行い、本校の実態に即した内規・各種規定の整理を行い、効果的な指導方法を検討する。

(イ) 安全、安心な教育環境の確保に努め、積極的な情報発信を行う。

(ウ) 職員室と事務室の協働と連携を強め、高い資質を備えた教職員組織づくりを図る。

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア	自ら学ぶ習慣を育成し、確かな学力を伸ばさせる。	到達度テストで自分自身の苦手箇所を正確に把握し、理解促進のための講義動画により、一人ひとりに合った学習を進める。	自分自身の苦手箇所を正確に把握し、自分に合った学習を進められる生徒 70%以上	教務 各学年
	探究的な学びを推進する。	総合的な探究の時間において「ソーシャルチェンジ」「コーポレートアクセス」プログラムを実施する。 授業で生徒に期待する資質・能力の発揮のされ方を明確化し、生徒が主体的に授業に取り組めるよう授業改善を行う。	自分の最適解や納得解など考えを表現できると答える生徒 70%以上	探究プロジェクト委員会 各教科 教務
	「時を守り、場を清め、身を正す」指導をすすめる、規範意識を醸成する。	保護者の理解・協力を得ながら、全教員の共通理解の下、生徒が自ら意識して行動できるような指導を行う。	校内における私物の管理(机上やロッカーの上等に放置しない)ができる生徒 95%以上 「生活面(服装・頭髪等)はしっかりしている」と答える生徒 80%以上	生徒 保健 各学年

	生徒が主体的に将来設計できるような進路指導を推進する。	進研記述、全統記述等の結果を分析し、理解促進のために、一人ひとり合った授業を進める。	自分自身の実力を正確に把握し、自分に合った進路を決められる生徒 80%以上 本校の進路指導に対して満足と感じる卒業生 90%以上	進路
	全員が積極的に関り、主体性や社会性を育む。	成就感や達成感を持たせる指導を推進し、活動をいかした奉仕活動を実践する。	県大会へ出場する部活動(大会等がない部活動は対外的活動実施) 80%以上 各部活動による奉仕活動 年1回以上	生徒
		生徒が自ら企画・実行できる特別活動を推進する。	生徒会行事等は生徒自らの企画・実行により行われていると感じる生徒 80%以上	
	一人ひとりが、諸活動に前向きに参加し、他者との関わりの中で自己肯定的感を醸成する。	自尊感情と規範意識のバランスのとれた育成のために、認めて育てる指導を行う。	本校の教員は自分のことを認めてくれていると感じる生徒 80%以上	保健
		課題を抱える生徒について情報を共有し連携した組織対応をする。		
		人間関係づくりプログラムを実施し、他者と良好な人間関係をつくる。	学校に安全・安心の場があると答える生徒 80%以上	生徒 保健 各学年
	広い視野で物事を考えることができるよう、読書活動の充実を図る。	読書に親しみ、自己の生き方・在り方を考える生徒を増やす。	朝読書や授業を含め学校や家庭で読書に取り組めたと答える生徒 80%以上	図書・(研修)
イ	研修の充実を図り、その成果を共有することで、指導力の向上を図る。	公開授業日を年2日以上設定する。 授業改善及び学習評価の校内研修を年2回実施する。 校外研修の内容を共有し、いかす。	授業見学、授業改善及び学習評価の校内研修、校外研修の内容を共有し、授業で実践した教職員 70%以上	(図書)・研修
	内規・各種規定の整理を行い、効果的な指導方法を検討する。	各種内規・規定及び、各分掌・学年の事業の見直しを行う。	点検した内規・規定 100% 各事業の目的の明確化 100%	全分掌
	保護者、県民等への広報活動を充実する。	ホームページの更新に努めると共に、メール送信を積極的に活用する。	ホームページ更新回数 年100回以上 行事開催の案内通知と併せたメール送信やオンライン配信の実施	教務 総務
	PTA・後援会・同窓会と連携した教育環境の整備を図る。	生徒や保護者の意向を重視した環境整備を行う。	良い環境で学習・部活動ができていると感じる生徒 70%以上	総務 事務
	施設設備の充実を図る。	常に安全に配慮し、計画的に修繕する。	危険性の早期把握、迅速な対策、及び利便性の向上	事務